

## 令和5年度第1回運営協議会議議事録

令和5年6月8日16時より、本校視聴覚室において第1回運営協議会を開催した。

I 出席者 学校運営協議会委員 9名（欠席1名） 本校教職員 23名

### II 【議事録】

#### 1 開会 副校長より

#### 2 校長より

5月8日に新型コロナウイルス感染症の扱いが2類から5類へと移行したことを受けて、生活様式がコロナ禍のものから大きく変化した。学校の教育活動では、コロナ禍の前の活動にほぼ戻ったと言える。

コロナ禍での3年間、制約のある中で過ごしてきたが、コロナ禍であったからこそ学べたこともあった。今後の本校の教育活動を、単にコロナ以前に戻すのではなく、コロナ禍での学びを活かした学校運営をしていきたいと考えている。

#### 3 各部会からの報告

「生徒支援・外国支援部会」

全日制のチューター登録を制度がないということで削除。

定時制の6月にある多文化コーディネーターは4月に実施済み。

活動計画についてはご承認いただいた。

「キャリア支援部会」

修正点はなし。

今後の課題として、学校から発信している情報を保護者がキャッチできていない現状の解決がある。生徒・保護者と共通理解を持って、進路が決まらないまま卒業する生徒を減らしていきたいという話し合いがもたれた。

「環境整備部会」

修正点はなし。

一斉研究授業研究会では去年の反省を踏まえ新しい試みをするという話題になった。

#### 4 学校目標（具体的な方策）

各課程の学校管理運営GLより説明

各課程より、第1回学校運営協議会資料に沿った説明がされ、次の点については資料に追加され説明された。

- ・定時制 クラスユナイテッドについての説明

合同でLHR等を行うことにより、1教室あたりの教員の人数を増やし、生徒を支援していく。

- ・通信制 ICT利活用の今後の展望について

クラスルームでの生徒と学校の双方向のやり取りができるようになった。今後は、コミュニケーションツールとして学習指導、生徒指導、進路指導などにICTを積極的に活用し、卒業へつなげる指導をしていきたい。

## 5 質疑応答

委員から次のQ1～Q6の質問があり、本校教員が返答した。

Q1 災害時の対応について

→ 本校が避難所であること。厚木市との協議、各種マニュアルの整備状況について説明があった。

Q2 学校周辺における生徒の振る舞いに対する指導に関することについて

→ 学校として対応するとの返答があった。

Q3 授業改善について

→ ちょっと×2ハンドブックを紹介し、ICT利活用について説明があった。

Q4 定時制の卒業率について

→ 9割の生徒が3年間で卒業を希望するが、卒業できる割合は5割。

Q5 フレキシブルスクールとしての課程間併修について

→ 定時制の生徒が全日制の科目を履修するのは年に数名。全日制生徒は延べ人数で100名ほど定時制の授業を履修している。通信制の生徒は受験科目が全日制にあるということで年に数人が履修している。本年度は4名。

Q6 働き方改革について

→ Teamsなどを用い、会議に要する時間を短縮している。グループの業務を見直す予定。ビルドばかりできているので、無くすものを3課程で検討していく。ICT利活用も進めていくとの返答があった。

## 6 指導助言

委員から次の指導助言があった。

- ・ 入学式後の定時制集会で、ルールを守るようにとの話が多くされていた。入学生の保護者として不安になった。自分のペースで学びたい、自分のペースでいいんだよと言ったり、学び直しができるんだよという良さを全面的に入学生に話してほしい。入学式でプラスなイメージもたくさん話して明るく迎えてもらえればよいと思う。入学したてのこれからの生活に生徒がわくわく感をもてる伝え方をして欲しいとのご意見。
- ・ 通信制PTAとして他の学校と関わりを持ったり、地域の方とも関わりをもっていけたらというご意見。また、卒業してよかったと思える学校になるといいとのご意見。
- ・ コロナ後の生徒への対応に対して、初歩的なことでも聞いていいんだよという安心できる環境、学校とつながることができてよかったという運営ができるといいというご意見。

## 7 講評（委員より）

部会では外国繋がりの生徒の支援の話があった。

日本語が全くできない生徒が入学してきて、先生たちの関わりの中で言葉を覚え、就職が決まったという話もあった。まさにグラデュエーションポリシーにマッチしている。

地域の一員としてこの学校がよりよくなるためにはどうすればいいのかということを考えながら参加させていただいている。ざっくばらんに厳しい意見もいただけて、いい機会になったと思う。（生徒の）わくわく感があっていろんな行動につながっていく。

毎朝本校の前に、生徒に挨拶してくださる方がいる。気持ちよく挨拶を返してくれる厚木清南の生徒たちもいるとのこと。部会では一部の生徒だと思えますよと言われていましたが。

地道な関わりが大事ななと思う。どんだん子どもたちに声をかけて、気持ちの良い学校になっていけばと思う。

## 8 閉会